



平成29年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

第145号 平成29年 4月28日発行
発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

第72回入学式「式辞」より

校長 松井 裕次

「勤学の歌」(中国 宋時代の宰相 司馬光の作)

冒頭にこう詠まれています。「子(こ)を養いて教えざるは 父の過ちなり、訓導の厳ならざるは 師の惰(おこたり)なり、父教え師厳なること 両(ふたつ)ながら外(ほか)無けれども、学問成ること無きは 子の罪なり」訳はこうです。「子供を育てるに当たって、教育に無関心であるのは 親の過ちである。教え導くのに厳しさが無いのは 教師の手抜きである。親が子の教育に気を配り、教師が熱心に教えるという両方の条件がそろって、不足を言う余地もないのに学問が上達しないのは、子供自身の怠けである。」

すなわち、学問が成就するためには、教育に対する保護者の理解、厳しさをもったよい教師、生徒の「学びの心」が必要なのです。今、新入生の皆さんは、ご家族から、佐世保南高校で学ぶ機会を与えてもらいました。そして、私たち南高教師は、愛情の中にも厳しさを持ち、一層の研鑽を積んでいきます。これに、生徒の「学びの心」が備わったとき、必ずやそれぞれの目標を現実のものとする事ができるはずです。

「南高魂」

南高には、「南高魂」と書いて、「こころ」と読むものがあり、その中の一つにこうあります。

「受け継いできたもの…それは『自律心』、自ら目標を立てて努力し、自らの責任で行動する。やらされるのではなく、やり抜こうとする強い意志、それが南高魂」

南高では、「学びの心」を自分を律する心、すなわち「自律心」と表現しています。生徒の皆さんにも、進んで自らを律し、自ら求めて学ぶ心を身につけてほしいと願っています。「自律心」こそが、これから先、求められる「主体的な学び」と、チームの「協働的な学び」を生み出します。

「主体的な学び」

自主性と主体性の違いは何でしょうか。「自主性」とは、既にやるべきことは明確で、その行動を率先して、人に言われずに自らやることです。「主体性」とは、自分で考え、判断し、やるべきことを明確にし、行動することです。自主性の先に主体性があるのです。「自主的にさらに主体的に」を心掛けてください。私たちは、何かをよくしよう、人生をより豊かなものにしようとして生きています。失敗してもいい。失敗は次のやるべきことを明確にしてくれます。それを繰り返して修正しながら、目標に近づけていくのです。主体性を持つ人が成長し続けます。「主体性」とは、自らの意志で行動する性質です。

「協働的な学び」

「木は光を浴びて樹になり、人は人を浴びて人になる。」という言葉があります。南高では、学習と部活動の両立を通して、思いやりや他者への配慮という、「人間力」を身に付けることを目指しています。クラスも、部活動もすべてチームであり、皆さん一人一人がチームの「協働的な学び」に欠かすことのできない存在です。謙虚に、分からないことは人に聞く、そして、分かったことは人に伝える。さらに、「役割が人を成長させる」といいます。今日から、南高での新しい役割と責任を自覚し、さらに成長してください。「人は人を浴びて人になる」、人は人に揉まれ、人と磨き合いながら心の豊かさを身に付けていくのです。

「70年の想いを知り、新たな風を起こす」

南高を自らの意志で志願し、入学を果たした72回生の皆さんには、次年度実施する「70周年記念事業」に向けて、新たな歴史を創造する主体者として、大きな期待が寄せられています。また、柏葉会・育友会・地域の皆様の温かいまなざしに、南高の生徒は「オール南」で育てるといふ、熱い期待と励ましを、全身で感じてくれたものと思います。南高の歴史に新たな1ページを書き足す、72回生の今後の活躍と成長を祈念します。



～新任者紹介～



○木原 修一 (化学) 前任校 川棚高校

このたびの人事異動で川棚高校から赴任してきました。お世話になります。理科の化学が専門です。3歳から高校卒業まで佐世保に在住しており、36年振りにもどって来ました。この10年ほど、京都好きの長女に誘われて、年に1～2回ほど訪れています。2月には、梅の花に誘われて一人で行ってきました。



○野田 隆博 (音楽) 前任校 県体育保健課

長崎県教育庁体育保健課(ねんりんピック推進課)から参りました。2年ぶりの学校現場でワクワクしております。南高生とともに楽しく音楽活動をしたいと思えます。部活動の吹奏楽部では、気合いを入れて九州大会出場を目指します。よろしくお願ひします。

○永益 泰彦 (生物) 前任校 大村工業高校

大村工業高校より赴任しました理科(生物)の永益泰彦と申します。15年ぶりに佐世保へ再び戻ってきました。伝統ある南高の教壇に立つと思うと身の引き締まる思いです。生徒の皆さんと共に生物を学べることを嬉しく思います。よろしくお願ひします。

○福田 智明 (数学) 前任校 諫早付属中学校

この度、諫早高校付属中学校から異動してきました。5年間ほど中学生を指導していましたので、久々の高校生の指導に不安もありますが、久々の担任(1年1組)も含めてワクワク感もあります。テニスが大好きで、女子硬式テニス部の顧問です。趣味はイラストを描くこととスポーツ観戦です。福岡ソフトバンクホークスと広島東洋カープのファンです。よろしくお願ひします。

○石橋 可巳 (国語) 前任校 東北師範大学 (中国吉林省)

中国での2年間の任期を終え、この度久しぶりに佐世保南高校へ復帰します。3年生の国語、およびバトン部・応援団の顧問です。慣れ親しんだ学校に戻ってきた安心感とともに、新たに会う生徒たちとどんな学校生活を送ることになるか期待しています。

○寺澤 祥 (地理) 新規採用

こんにちは!高校2年の時に恩師に勧められてこの仕事を志し、今年からそのスタートラインに立てました。初任校は特別な存在になるといいますが、生徒の皆さんとの楽しい日々から、既に「いつか母校のように感じるんだろうな」と思いながら愛着が湧いてきているところです。第2学年、地理、男子バスケです!南高のために粉骨砕身頑張ります!

○開田 瑞萌 (国語) 新規採用

この春、私の教員生活がスタートし、わくわくドキドキしています。学ぶことばかりで、生徒に負けられないの勉強の日々です。わからないことだらけですが、優しい先生方、生徒ばかりであたたくも幸せな毎日を過ごしています。素直で元気な生徒たちからエネルギーをもらいつつ、そして私自身も若さを全面に出しながら、この学校で生徒とともに成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○森下 真優 (数学) 講師

2学年所属、吹奏楽部副顧問をさせていただきます。2年前に一度、本校に勤務しておりました。新しい学年、新しい部活動ということで気持ちも新たに頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○秋月 直剛 (英語) 講師

こんにちは!この春、新しく佐世保南高校に赴任してきた講師の秋月直剛です。2年3組の副担任で、担当教科は英語です。先月大学を卒業したばかりで、まだまだわからないことがたくさんありますが、皆さんと一緒に勉強して日々精進してまいりたいと思ひます。1年間よろしくお願ひします。

○久保田 彩 (養護教諭) 前任校 長崎南高校

長崎南高校から参りました。佐世保は初めてで、わからないことも多いですが、新しい出会いを楽しみにしてきました。早く慣れて、南高生の心と体の健康をサポートできるように努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○楠田 貴史 (事務室) 前任校 豊玉高校

対馬の豊玉高校から来ました事務の楠田貴史と申します。本校第43回生で、創立40周年の記念式典や国際交流文化館が完成した頃の生徒になります。来年度は創立70周年の記念式典も行われるとのことで、母校のために頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○岩田 郁美 (事務室) 新規採用

初めて南高に来た日、明るく元気なあいさつをしてくださり、ワクワクした気持ちでこの4月をスタートしました。直接関わることでできる機会は少ないかもしれませんが、生徒の皆さんが過ごしやすい学校づくりに日々励んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○萩原 慎也 (事務室) 新規採用

事務・現業業務嘱託職員の萩原慎也(ハギワラ シンヤ)です。出身は松浦市で1時間かけて通っております。私自身、視野が狭く、知識を吸収するのに時間がかかり、迷惑をかけるかもしれませんが、真摯な姿勢を忘れず、自分には何が出来るかを考え、学校というピースの一部になれるよう頑張ります。

○齋藤 史子 (購買部)

購買部で働き始めて半月が過ぎました。明るく正義正しい南高生さんたちのおかげで、楽しく仕事をさせていただきます。いつも笑顔をありがとうございます!

○入学式

4月10日(月)に第72回入学式が行われました。生憎の荒天ではありましたが、満開の桜の下、真新しい制服姿の新入生が入学を許可され、本校72回生となりました。各担任が一人ひとりと呼名し、新入生は高校生活への意気込みを感じさせるような力強い返事をしていました。また校歌斉唱では、体育館に全生徒の大きな声が響きわたり、これからの高校生活に希望を感じさせる素晴らしい入学式になりました。



○「新入生宿泊研修について」

4月17日(月)から2泊3日の日程で、佐世保青少年の天地にて新入生宿泊研修が実施されました。教頭先生の講話を皮切りににはじまった研修では、今年度はじめて野外(飯盒)炊さんが企画され、2日目の昼食はクラスごとにカレーライスを作りました。普段の生活で火おこしをすることはほとんどなく、しかも前日の雨で湿気を含んだ薪にはなかなか着火せず、どの班も悪戦苦闘の様子が窺えましたが、それでもみんなで作ったカレーは美味しく、仲間との会話も弾んで、和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことができました。毎日作ってもらえる食事の有り難さを口にする生徒もいました。

集団行動、クラス活動、校歌・応援歌練習、校歌コンクール、学習に真剣に取り組んだこの2泊3日は、生徒一人ひとりにとって高校生として、また南高生としてどうあるべきかを学ぶための貴重な体験となりました。諸々の準備のためにご協力いただきました保護者の皆様に、お礼を申し上げます。



○1学年主任より(山西 善雄)

「世の中は子どもと、元(もと)子どもでできている」 ある童話作家の言葉です。

では、高校生はそのどちらに属するのでしょうか?高校1年生は、江戸時代なら大人の仲間入りをする年齢ですが、今は事情が違います。「子どもの集団にも属さず、大人の集団にも属さない中間的な存在」(境界人=marginal man)という青年期の定義がある一方で、15歳は労働力の中核をなす「生産年齢人口」に区分される年齢でもあります。このように境界そのものが不明瞭のなかで確実なことは、子どもへの逆戻りはできないということです。

不確定な状況にあるということは、いろいろな可能性があるということでもあります。大事なことほどすぐには答えが出ない。高校生活をスタートさせたばかりの72回生に望むことは、自らの可能性を否定せず、粘り強く思考を紡ぎ、学び続ける姿勢です。

○2学年主任より(松田 健佑)

第2学年は71回生にとってどんな1年になるのでしょうか。この1年間は、学校行事や部活動において本格的に学校の中心として活躍が期待される1年です。校内だけでなく、オープンキャンパスや修学旅行など今まで体験できなかったことが体験できる機会もたくさんあります。多くの経験を重ね、それぞれに大きな成長を得ることができる1年となることを期待します!「思いやりの心」を持ちクラスメイトと切磋琢磨する、お互いに高めあう集団になれるようがんばっていきましょう!!

○3学年主任より(川副 華代子)

「前へ」、個性豊かな70回生もいよいよ最高学年としてファイナルステージを迎えました。この1年間でどのような成長をみせてくれるのでしょうか。前へ向かって進み、学び続ける70回生であってほしいと思います。70回生の進路実現に向けて、頑張りましょう。

○海外研修【3月25日(金)～4月1日(金)】

3月25日(土)～4月1日(土)まで、海外研修が行われました。今年度も、アメリカ合衆国カリフォルニア州テメキュラ市、マリエタ市、サンディエゴ市を研修地として語学研修や姉妹校・姉妹港との交流を行いました。生徒は現地では2人1組でホームステイを行い、アメリカの文化や習慣、英語表現の習得に励みました。姉妹校・姉妹港との交流では、アメリカの文化を受け入れるだけでなく、日本の文化を発信しながら、英語での会話を楽しみました。最終日のさよならパーティーでは、多くの生徒が涙で別れを惜しんでおり、ホストファミリーとの1週間は、本当に楽しく貴重な経験であったと振り返っていました。今後は、校内での英語学習・国際交流のリーダーとしての役割を担ってくれるものと期待しております。



○進路指導部より「平成28年度入試結果について」

29年3月卒業生の合格状況(延べ人数)は、国公立大学103名(国立大学63名、公立大学40名)、私立大学169名、準大学8名、短期大学9名、専門学校49名、自衛隊1名、でした。合格の主なものとしては、大阪大学1名、九州大学3名、岡山大学3名、山口大学5名、長崎大学22名、佐賀大学2名、熊本大学5名、明治大学1名、東洋大学1名、関西学院大学2名、西南学院大学6名、福岡大学15名、海上保安大学校1名などです。今年度も受験生の負担は、新課程入試の中で非常に重いものとなりましたが、センター試験後も先生方と生徒達がそれまでと変わりなくひたむきに受験に向き合っていました。その中で、昨年度の3年生に続き69回生も多くの生徒が前期のみならず中期・後期まで粘り強く受験に臨み国公立大学への合格を手にししました。また私立大学や高専などの専門学校への進学を志望していた生徒達も必死に特別編成授業等に向き合いながらそれぞれの進路先へ進んでくれました。今年度の入試結果を分析し、その成果を継承しつつ情報の提供と共有に努め、70回生の進路実現のサポートをしたいと思っております。

○生徒会指導部より「ボランティア活動について」

卒業生に体育館シューズ・グラウンドシューズを寄付してもらい、使えるものだけを箱に詰め、フィリピンのセブ・マクタン島にある学校へシューズの寄贈を行いました。生徒会役員の生徒たちは、「これがフィリピンに届くのか〜！少しでも役に立てたらいいな。」と思いを込め、作業を行っていました。このようなボランティア活動が自発的に広がり、他者を思いやる大切さを改めて実感してほしいものです。



○5月行事予定

- 5月 8日(月) 育友会総会振休
- 13日(土) 育友会総会・学年育友会
- 17日(水) 生徒総会
- 20日(土) 桜が丘特別支援学校運動会交流
- 22日(月)～26日(金) 高総体強化週間
- 29日(月) 高総体振休



○主な部活動の結果

- H29 佐世保地区高等学校バレーボール春季選手権大会
男子バレーボール部 **優勝**
- H29 長崎県高等学校男女バレーボール春季選手権大会
男子バレーボール部 **第3位**
- H29 長崎県高等学校バスケットボール春季選手権大会
女子バスケットボール部 **第3位**
- H29 佐世保地区高等学校ソフトテニス春季選手権大会
女子ソフトテニス部 団体戦 **準優勝**
個人戦 **優勝**
(島尾里萌・杉坂瑠奈ペア)

